

2021年度

地域包括ケアシステム研修会
オンラインナイトセミナー

「当事者と
その**家族**の
経験から学ぶ」



とどろき ひろみ

轟 浩美 氏

「当事者の経験から
考える地域包括ケア」

日時

2021年

11月17日(水)

19:00 ~ 21:00

Zoom開始 18:30~

参加形式

オンライン

対象

- ◆ 地域包括ケアシステムに関心・興味のある専門職
または地域支援に従事する専門職の方々
- ◆ 本研修テーマに興味のある当事者の方々

定員

150名 (先着順)

参加費

2,000円

(障がい当事者は無料)

詳細は **埼玉県作業療法士会** のホームページにて掲載されますのでご確認ください。
また、**Facebook** や **LINE** にも掲載されますので、ご確認ください。



轟 浩美（とどろき ひろみ）氏

- * 1962年 東京都生まれ
- * お茶の水女子大学卒 1986年～2015年まで学習院幼稚園教諭
- * 胃がん患者家族会 認定NPO法人希望の会 現理事長
- * 一般へのがん啓発を行う『グリーンルーペプロジェクト』発起人代表
- * 患者市民参画『PPHプロジェクト』タスクフォース
- * 全国がん患者団体連合会 理事
- * 2017年10月～2019年11月 厚生労働省がん対策推進協議会委員
- * 日本医科大学 臨床研究審査委員会, 中央倫理委員会委員
- * 厚生労働省 人生会議国民向け普及啓発事業評価委員



主な活動

2016年がん対策基本法改正の際には、基本法に「難治、希少、小児がんへの対策」の明記を求め、積極的にロビイングを行った。結果、現がん対策推進基本計画に上記の明記のみならず、難治がんとして「スキルス胃がんへの対策」も明記された。2015年、スキルス胃がん患者本人であった夫、轟哲也が希望の会を設立。夫の逝去と同時に、2016年に理事長となる。国立がん研究センター他、医師の監修のもと、スキルス胃がんの冊子を作製。2019年には全国胃がんキャラバンに挑戦。2020年は、日本胃癌学会と共に、「動画で知る胃がんの全て」を作成し、胃がんの啓蒙、情報発信を行っている。

がんへの不安を抱く人が科学的根拠の乏しい医療に繋がってしまうことを危惧し、一般へのがん啓発として、グリーンルーペプロジェクトとしても積極的に発信をしている。

2020年のコロナ禍もオンラインでの発信を続け、現在は『がんの不安がある人へ』という冊子、動画の作成と若い世代のがんへの啓発に着手している。

厚生労働省科研費 ePRO, 臨床試験サイト作成委員会の患者側オブザーバー, JCOG (日本臨床試験グループ) 胃がんグループ 患者側オブザーバー, 日本胃癌学会胃癌治療ガイドライン作成に関しても意見を患者側として意見を出している。

参加方法

研修4日前までに研修会資料、ZoomのミーティングIDとパスワード、配布資料を研修会参加申し込み時に記載されたメール宛てにお送りいたします。

申し込み

申し込み締め切り：

2021年 **11月2日** (金)

申し込み
は **コチラ**



▼専門職の方



<https://www.ot-saitama.or.jp/payment/7573/>

▼当事者の方



<https://business.form-mailer.jp/fms/efb5e7dd153994>

【申し込み等に関するお問い合わせ】 下記メールアドレスにお問い合わせください

埼玉県作業療法士会 地域包括ケア推進部 担当：星野・鶴ヶ崎

E-mail : chiiki.saitama@gmail.com